

- 国語科の授業のアイデアを広げたい!
- 具体的な実践事例を知りたい!
- 授業の導入に使える小話はないだろうか?

そんな先生方のために、秀学社国語科通信シリーズをスタートします。

ICTを活用した スローリーディングで 生徒の思考を深める

東京都東村山市立東村山第二中学校

人見 誠 神田 郁佳

国語科におけるICT活用の現状

GIGAスクール構想が提唱され、ICTの効果的な活用が急務となっっているが、現在の国語科におけるICTの主な活用方法としては、次のようなものが挙げられる。

- ・ 資料を掲示する。
- ・ 検索機能を用いて生徒に調べ学習を行わせたり、辞書の代わりとして活用させたりする。
- ・ ホワイトボードや模造紙の代わりとして活用させる。

ICTを活用し、思考を深める授業の提案

確かに、今までと比べて授業の効率化を図ることができるようになった。しかし、これらは今まで他の媒体を使用していたものをデジタルに置き換えただけであり、本来の意味でICTの良さを十分に活用しているとは言えない。そこで今回は、生徒同士の意見交流や自分の考えをまとめる場面で紙ベースのワークシートとタブレットPCを併用することで、生徒の思考を深めさせることをねらいとした実践例を紹介する。

授業の実際

東京都中学校国語教育研究会の月例研究会において、定番教材である米倉斉加年の「大人になれなかつた弟たちに……」を題材として以下のような研究授業を行った。今回は「言葉に注目して文学を読ませる」ことを単元全体のねらいとし、各時間のねらいと併せて大型提示装置に示して確認しながら授業を進めることとした。

(1) 単元の流れ

- ① 言葉に注目して作品を読ませ、気になる記述や表記から「なぜそのような書き方になっているのか」を考えさせよう。物語の展開や主人公の心情が隠されている描写を見つけさせる。
- ② ワークシートに、①における自分の考えを書く。このとき、「なぜそう考えたのか」という理由を明確にさせると、最後に自身の考えの変容がわかりやすくなる。
- ③ ICTを使用し、②を共有ファイルに書き込み、班の中で考えの共有を図る。今回は、共有の場面において他者の考えに対する意見もファイル上に記録させた。

- ④ 他者の考えや自分の考えに対しての意見をふまえて、自身の考えの変容をワークシートにまとめる。②と同様、理由は具体的に記入させる。
- ⑤ 教室全体で考えを共有する。

(2) 成果と課題

この実践は、最初のねらいどおり生徒が「文学作品の面白さ」に気づくためにスローリーディングができるということが、大きな成果であった。生徒もICTを活用し自身と他者との考えを何度も比較し自らの考えを深めており、これが国語科でICTを活用することの効果であると実感した。課題は、教員間で生徒の活動状況を確認している間は机間指導ができない、ということである。生徒の活動の様

※テーブル「自分の考えとグループで意見交換し自分の考えを還元し」

Q1	なぜヒロユキは生まれて間もないのに泣かずにおどろく寝ていることが羽かったのだろう。
A1	ヒロユキが生まれた頃は食料が無く、ミルクや母から与えられる栄養が少なかったから、※クラスのまゝ
Q2	なぜ母は食べ物を探しに食べさせ、自分ばかり食べなかったのか。
A2	食べ物が多分になく、子供たちに食べさせてあげたから。
Q3	母は僕の行動に気付いていたのか。
A3	気がついてはいたのでは？

子を把握することでしたが防止できるほか、全体で共有すべき意見を見つけやすいというメリットはあるものの、手立てを必要とする生徒に対しての細やかな指導・助言を行うことが難しい場面があった。また、生徒によってタイピングスキルに著しく差があるという課題もあった。ICTを活用して考えを共有することがこの実践のポイントであるが、この課題によって時間内に考えの共有までたどりつけないという生徒も見られた。これを解決するためには、小学校におけるプログラミング教育の中で、児童が情報活用の実践力（ここではタイピングスキル）を確実に身に付ける必要がある。ICTの活用においては、このような小中連携を図ることが、生徒のより良い学びにつながっていくと考え

※テーブル「自分の考えとグループで意見交換し自分の考えを還元し」

Q1	病名はなにに、なぜ「病名」を言っていないのか？
A1	病院に入院している、この病名は病名に決まっていたら、たぶん僕も考えた。
Q2	……この意味
A2	栄養失調と書いて、僕がヒロユキを育ててきたから、死んだとたん「病名」が「栄養失調」だから。
Q3	ヒロユキはもう生きていないのに、「三人で」なのはなぜ？
A3	死んだのか、もう生きていないのか、死んだというのを理解しなかったから。
Q4	29の機体は美しく見えたのはなぜ？
A4	ヒロユキが死んだ時、アキラが泣いて、ヒロユキは「三人で」機体は美しく見えたから、アキラが泣いて、ヒロユキは「三人で」機体は美しく見えたから、アキラが泣いて、ヒロユキは「三人で」機体は美しく見えたから。
Q5	ヒロユキはもう生きていないのに、「三人で」なのはなぜ？
A5	死んだのか、もう生きていないのか、死んだというのを理解しなかったから。
Q6	ヒロユキはもう生きていないのに、「三人で」なのはなぜ？
A6	死んだのか、もう生きていないのか、死んだというのを理解しなかったから。
Q7	初めに泣いたのは母の心構
A7	ヒロユキが死んだ時に、母は泣いて、ヒロユキは「三人で」機体は美しく見えたから、アキラが泣いて、ヒロユキは「三人で」機体は美しく見えたから、アキラが泣いて、ヒロユキは「三人で」機体は美しく見えたから。

【編集部がつぎやき】 英女王とアン女王

エリザベス女王が亡くなって、頭に浮かんだ二つの場面がある。父国王の急死に伴い、「生涯のすべてを国と国民に捧げる」と誓って女王に即位したのが1952年。戴冠式が行われた53年、映画『ローマの休日』が公開されている。街に飛び出したアン女王だったが、居館に戻って「果たすべき務めのことを思わなかったら二度と帰って来ませんでした」と、うろたえる側近たちを安堵させる。このときのアン女王の決然とした姿と、「すべてを捧げる」と誓ったときの英女王の姿とが私の中で重なるのだ。映画を撮った監督の頭にも、あの英女王のリリしい姿があったのではないだろうか。（編集部：丸山）

秀学社 国語科 LINE公式アカウント

ココカフェ

▼役立つ情報を配信します。
ぜひご登録ください。

